

**Canon EFS LENS**

**EF-S17-85mm f/4-5.6 IS USM**



**IMAGE STABILIZER**  
**ULTRASONIC**

**JPN**  
使用説明書

# キヤノン製品のお買い上げ誠にありがとうございます。

キヤノンEF-S17-85mm F4-5.6 IS USMは、EF-Sレンズ対応カメラ\*用に開発された、手ブレ補正機能を備えた小型・軽量の標準ズームレンズです。

\* EF-Sレンズ対応デジタル一眼レフカメラは、以下のとおりです。(2012年8月現在)

他のEOSカメラには装着できません。

EOS 7D、EOS 60D、EOS 50D、EOS 40D、EOS 30D、EOS 20D、EOS 20Da、EOS Kiss X6i、EOS Kiss X5、EOS Kiss X4、EOS Kiss X3、EOS Kiss X2、EOS Kiss X50、EOS Kiss F、EOS Kiss デジタルX、EOS Kiss デジタルN、EOS Kiss デジタル

- ISはImage Stabilizer (手ブレ補正機能) の略称です。
- USMはUltrasonic Motor (超音波モーター) の略称です。

## 特長

1. シャッター速度換算で、約3段分\*の手ブレ補正機能を備えています。
2. 非球面レンズを採用することにより、優れた描写性能を実現しています。
3. 超音波モーター (USM) 搭載により、高速で静かなオートフォーカスを実現しています。
4. オートフォーカスモード (ONE SHOT AF時) のまま、合焦後にマニュアルでピント調整ができます。
5. 円形絞りの採用により、なめらかで美しいボケ味が得られます。

\* [1/(焦点距離×1.6)] 秒を基準にしています。  
一般に手ブレを防ぐためには「1/焦点距離」秒以上のシャッター速度が必要といわれています。(35mmフォーマットの場合。EF-Sレンズの場合は「[1/(焦点距離×1.6)] 秒」となります。)

### 安全上のご注意

- レンズ、またはレンズを付けた一眼レフカメラで、太陽や強い光源を直接見ないようにしてください。視力障害の原因となります。特に、レンズ単体で直接太陽をのぞかないでください。失明の原因となります。
- レンズ、またはレンズを付けた一眼レフカメラを日光の下にレンズキャップを付けないまま放置しないでください。太陽の光が焦点を結び、火災の原因となることがあります。

### 取り扱い上のご注意

- レンズを寒いところから暖かいところに移すと、レンズの外部や内部に水滴が付着（結露）することがあります。そのようなときは、事前にレンズをビニール袋に入れて、周囲の温度になじませてから、取り出してください。また、暖かいところから寒いところに移すときも、同様にしてください。
- 直射日光下の車の中などは予想以上に高温になります。レンズの故障の原因になることがありますので、このような場所にレンズを放置しないでください。

### 本文中のマークについて

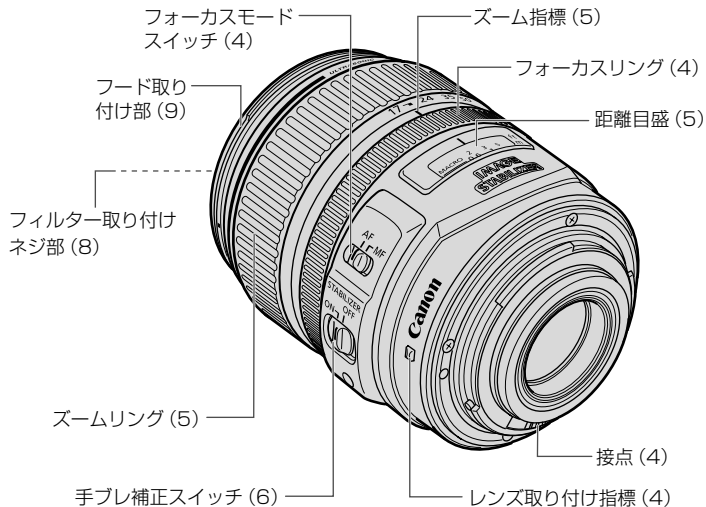


撮影に不都合が生じる恐れのある注意事項などが書いてあります。



基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書いてあります。

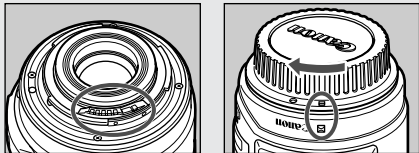
# 各部の名称



(\*\*)の\*\*部は参照ページを示しています。

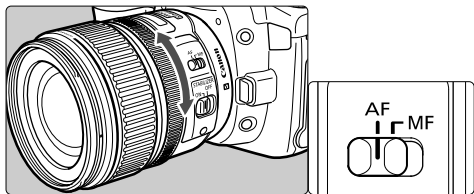
# 1 レンズの着脱

レンズの着脱方法については、カメラの使用説明書を参照してください。



- レンズを外したときは、接点やレンズ面を傷付けないように接点を上にして置いてください。
- 接点に汚れ、傷、指紋などが付くと、接触不良や腐食の原因となることがあり、カメラやレンズが正確に作動しないことがあります。
- 汚れや指紋などが付着した場合は、柔らかい布で接点を清掃してください。
- レンズを外したときは、ダストキャップを付けてください。取り付けは、図のようにレンズ取り付け指標とダストキャップの口の指標をあわせて時計方向に回します。取り外しは、逆の手順で行います。

# 2 フォーカスモードの設定



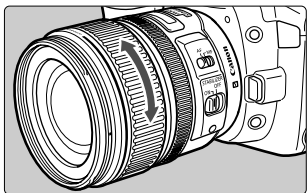
オートフォーカス (AF) で撮影するときは、フォーカスモードスイッチをAFにします。

マニュアルフォーカス (MF) で撮影するときは、フォーカスモードスイッチをMFにし、フォーカスリングを回します。フォーカスリングは、フォーカスモードに関係なくいつでも動かせます。



カメラのAFモードがONE SHOT AFのときは、AFでピントを合わせたあと、シャッター半押し状態でフォーカスリングを回すと、任意にピントを調整できます。(フルタイムマニュアルフォーカス)

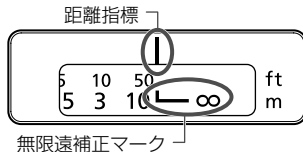
### 3 ズーミング



ズームリングを回転させてズームリングします。

- ④ ピント合わせはズームリングしたあとで行ってください。ピントを合わせてからズームリングすると、ピント誤差が生じることがあります。

### 4 無限遠補正マーク



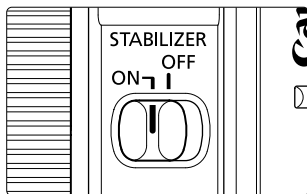
温度変化によるピント移動を補正するため、無限遠(∞)位置に余裕を持たせてあります。

常温の無限遠位置は、Lマークの縦線と距離指標が合うところです。

- ④ 無限遠の被写体に、MFで正確にピントを合わせる場合は、ファインダーで確認しながらフォーカスリングを回してください。

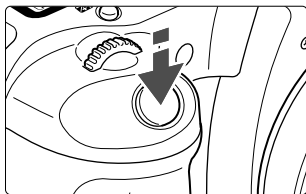
## 5 手ブレ補正機能

手ブレ補正機能はフォーカスモードがAF/MFどちらの場合でも使用できます。



1 手ブレ補正スイッチをONにします。

- 手ブレ補正機能を使用しないときはOFFにします。



2 シャッターボタンを半押しすると、手ブレ補正機能が働きます。

- ファインダー像が安定したことを確認し、シャッターボタンを全押しして撮影します。



ON



OFF

このレンズの手ブレ補正は、次のような条件の手持ち撮影で効果を発揮します。

- 夕景や室内など、薄暗い場所
- 美術館や舞台など、ストロボ撮影が禁止されている場所
- 足場が不安定な状況
- その他、速いシャッター速度が使用できない状況

## 手ブレ補正機能



- 被写体が動いてしまう「被写体ブレ」は補正できません。
- バルブ(長時間露光)撮影のときは手ブレ補正スイッチをOFFにしてください。ONにすると手ブレ補正機能が誤作動することがあります。
- 次のような状況では、手ブレ補正効果が十分に得られないことがあります。
  - ・ カメラを動かして流し撮りをするとき
  - ・ 大きく揺れ動く乗り物から撮影するとき
- 手ブレ補正機能を使用すると、通常より電力が必要なため、撮影可能枚数が少なくなります。
- シャッターボタンから指を離しても、約2秒間は手ブレ補正が作動しています。この間はレンズを外さないでください。故障の原因になります。



- 三脚を使用した場合も支障なく撮影できますが、バッテリーの消費を防ぐため手ブレ補正スイッチをOFFにすることをおすすめします。
- 一脚を使用した場合も、手持ち撮影と同等の手ブレ補正効果があります。
- 手ブレ補正機能はエクステンションチューブEF12 II/EF25 IIを使用しても作動します。
- カメラによっては撮影後などに像ゆれが発生することがありますが、撮影への影響はありません。
- カメラのカスタム機能でAF作動操作を変更したときは、変更後のAF作動ボタン操作でも手ブレ補正機能が作動します。



## 6 フィルター（別売）


フィルターは、レンズ先端のフィルター取り付けネジ部に取り付けてください。

- フィルターは1枚のみ使用できます。
- 偏光フィルターはキヤノン円偏光フィルター（67mm）を使用してください。
- 円偏光フィルターの調整操作は、フードを外して行ってください。

## 7 エクステンションチューブ（別売）

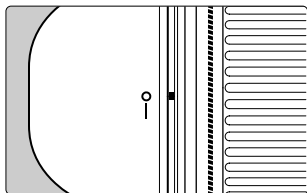
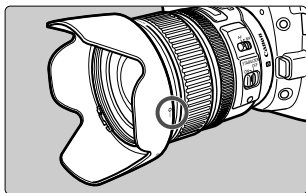
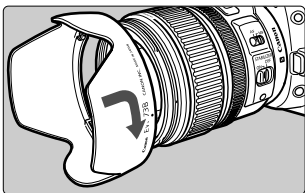
エクステンションチューブEF12 II/EF25 II を使用して拡大撮影ができます。撮影距離範囲と撮影倍率は次のようになります。

		撮影距離範囲 (mm)		撮影倍率 (倍)	
		近距離側	遠距離側	近距離側	遠距離側
EF12 II	17mm	使用できません			
	85mm	222	656	0.43	0.14
EF25 II	17mm	使用できません			
	85mm	189	368	0.72	0.33

 正確なピント合わせのため、MFをおすすめします。

## 8 フード（別売）

レンズフードEW-73Bは、有害光線をカットするとともに、雨・雪・ほこりなどからレンズ前面を保護します。



フードの赤い取り付け位置マークとレンズ先端の赤指標をあわせ、レンズの赤指標とフードの停止位置マークが合うまで、フードを矢印の方向に回して確実に取り付けてください。

収納時にはフードをレンズに逆向きにかぶせることができます。

- フードが正しく取り付けられていないと、撮影画面にケラレが生じることがあります。
- フードの取り付けや取り外しをするときは、フードの根元を持って回してください。フードの先の方を持つと変形して回らなくなることがあります。
- カメラの内蔵ストロボを使用するときはフードを外してください。ストロボ光にケラレが生じることがあります。

## 9 主な仕様

焦点距離・明るさ	17-85mm F4-5.6
レンズ構成	12群17枚
最小絞り	F22-32
画角	対角 78°30'~18°25'、垂直 48°~10°25'、水平 68°40'~15°25'
最短撮影距離	0.35m
最大撮影倍率	0.2倍 (85mm時)
画界	約219×328mm~75×112mm (0.35m時)
フィルター径	67mm
最大径×長さ	78.5×92mm
質量	475g
フード	EW-73B (別売)
レンズキャップ	E-67U/E-67 II
ケース	LP1116 (別売)

- 35mmフォーマット換算での焦点距離イメージは27-136mmとなります。
- レンズの長さはマウント面からレンズ先端までの寸法です。付属のレンズキャップおよびダストキャップをつけたときの長さは寸法表示+21.5mm (レンズキャップがE-67Uの場合) / +24.2mm (レンズキャップがE-67 II の場合) になります。
- サイズ・質量は本体のみの値です。
- エクステンダーEF1.4X II/EF2X IIIは使用できません。またクローズアップレンズ250D/500Dは使用可能なサイズがありません。
- 絞り値はカメラ側で設定します。ズーミングによる絞り値の変化はカメラが自動的に補正します。
- 記載データはすべて当社基準によります。
- 製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

## アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃諸掛かりはお客様にてご負担願います。
2. 本製品のアフターサービス期間は、製品製造打切り後7年間です。なお、弊社の判断によりアフターサービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことがあります。
3. 修理品をご送付の場合は、撮影された画像を添付するなど、修理箇所を明確にご指示のうえ、十分な梱包でお送りください。

キヤノン EFレンズホームページ

**canon.jp/ef**

キヤノンお客様相談センター

**050-555-90002** (直通)

受付時間〈平日〉9：00～20：00 〈土/日/祝〉10：00～17：00 〈1/1～3は休ませていただきます。〉

※ 海外からご利用の方、または050からはじまるIP電話番号をご利用いただけない方は03-3455-9353をご利用ください。

※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

**Canon**